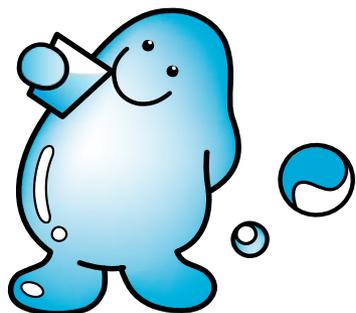


令和7年度 水道事業会計予算の概要



ウォッピー

札幌市水道局公式キャラクター

令和7年（2025年）4月
札幌市水道局

目 次

- 1 令和7年度予算のポイント P 1
- 2 令和7年度予算の詳細 P 3
- 3 主要事業 P 7
- ※ 公営企業会計について P 13
- ※ 用語集 P 15

1 令和7年度予算のポイント(1)

収入支出の概要

○収益的収支

(消費税込、単位:億円)

区 分	令和7予算	令和6予算	増減	増減率
収益的収入 A	482	464	+ 17	+ 3.8%
収益的支出 B	406	386	+ 19	+ 5.0%
差 引 A-B	76	78	▲ 2	▲ 2.4%

※ 項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

○主な増減理由

- ・ 収入～都心アクセス道路事業に伴う配水管の移設補償金などの増
- ・ 支出～石狩西部広域水道企業団からの受水開始に伴う受水費の増

○資本的収支

(消費税込、単位:億円)

区 分	令和7予算	令和6予算	増減	増減率
資本的収入 A	160	94	+ 66	+ 69.8%
資本的支出 B	348	330	+ 17	+ 5.3%
差 引 A-B	▲ 187	▲ 236	+ 48	+ 20.6%

※ 項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

○主な増減理由

- ・ 収入～企業債借入額の増
- ・ 支出～白川浄水場改修や配水管整備の事業費増加に伴う建設改良費の増

1 令和7年度予算のポイント(2)

資金残高

○収益的収支・資本的収支と過年度分内部留保資金を踏まえた資金残高

- ・収益的収支差引**76億円**、資本的収支差引**▲187億円**、当年度分損益勘定留保資金等**110億円**、前年度からの繰越金である過年度分内部留保資金**77億円**を合わせた令和7年度末の資金残高は**75億円**となる。

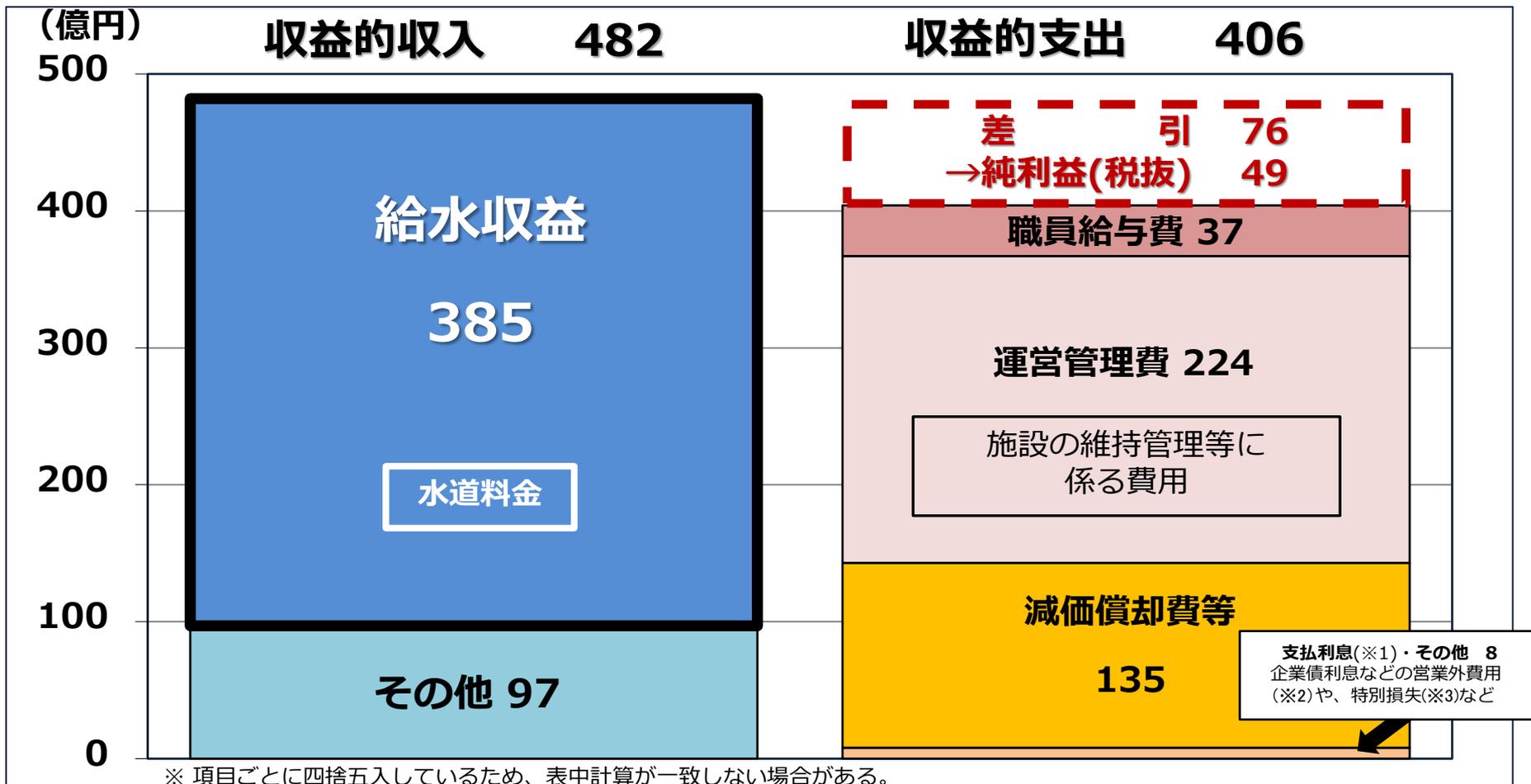
(消費税込、単位:億円)

区 分	令和7予算	令和6予算	増減	増減率
収益的収支差引 A	76	78	▲ 2	▲ 2.4%
資本的収支差引 B	▲ 187	▲ 236	+ 48	+ 20.6%
当年度分 損益勘定留保資金等 C	110	104	+ 5	+ 5.0%
計 D=A+B+C	▲ 2	▲ 54	+ 52	+ 96.4%
過年度分 内部留保資金 E	77	136	▲ 58	▲ 43.1%
合計(資金残高) D+E	75	82	▲ 7	▲ 8.2%

※ 項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

2 令和7年度予算の詳細(1)

収益的収支（消費税込）



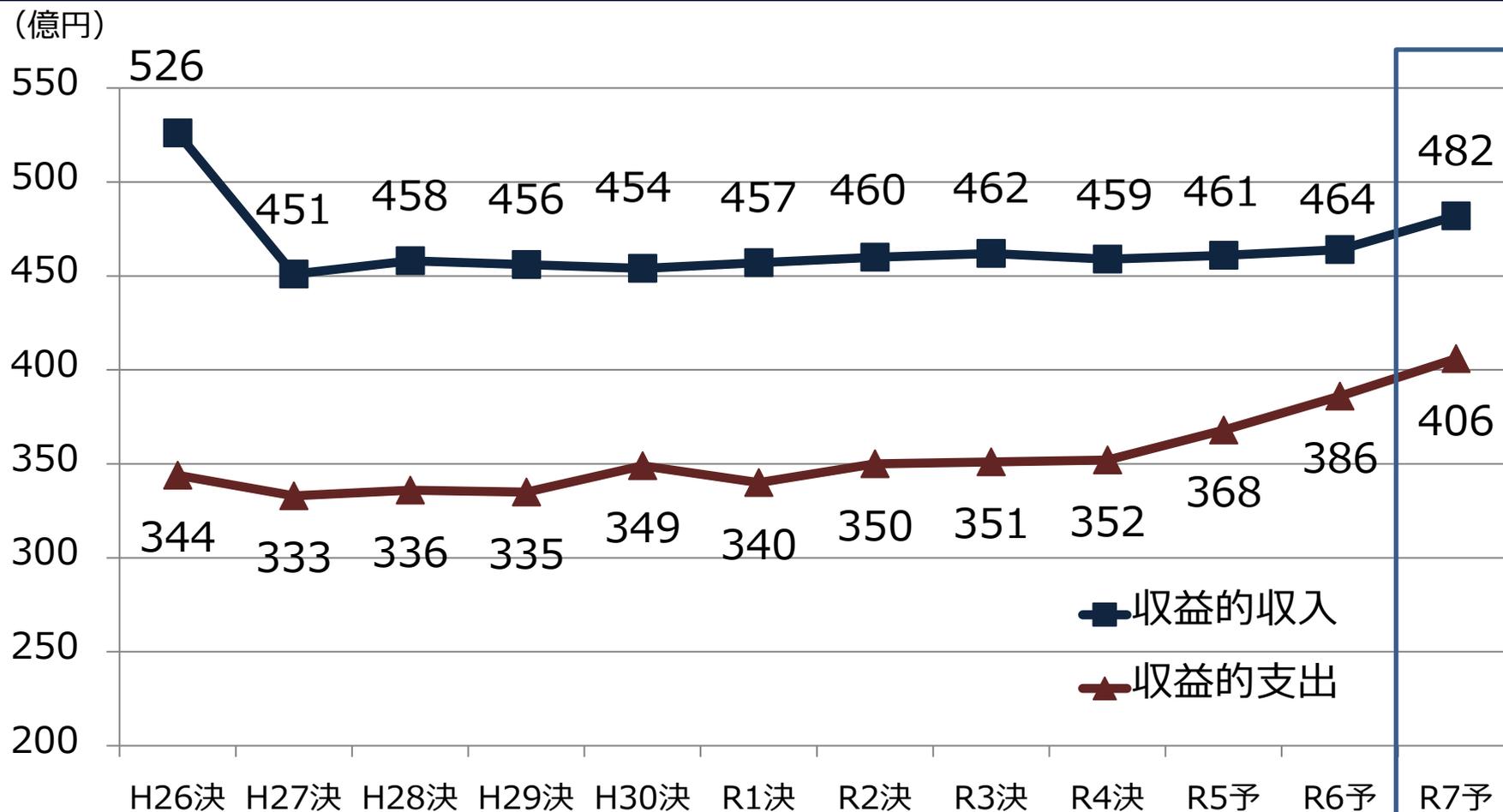
※1 支払利息: 企業債の借入に伴う利息。支払利息のうち当年度期間分を費用として計上。

※2 営業外費用: 水道事業の主たる営業活動以外の原因から生じる費用。

※3 特別損失: 経常的な経営活動とは直接関わりのない特別な要因で発生した費用(過年度分の水道料金還付金など)。

2 令和7年度予算の詳細(2)

収益的収支（消費税込）の推移



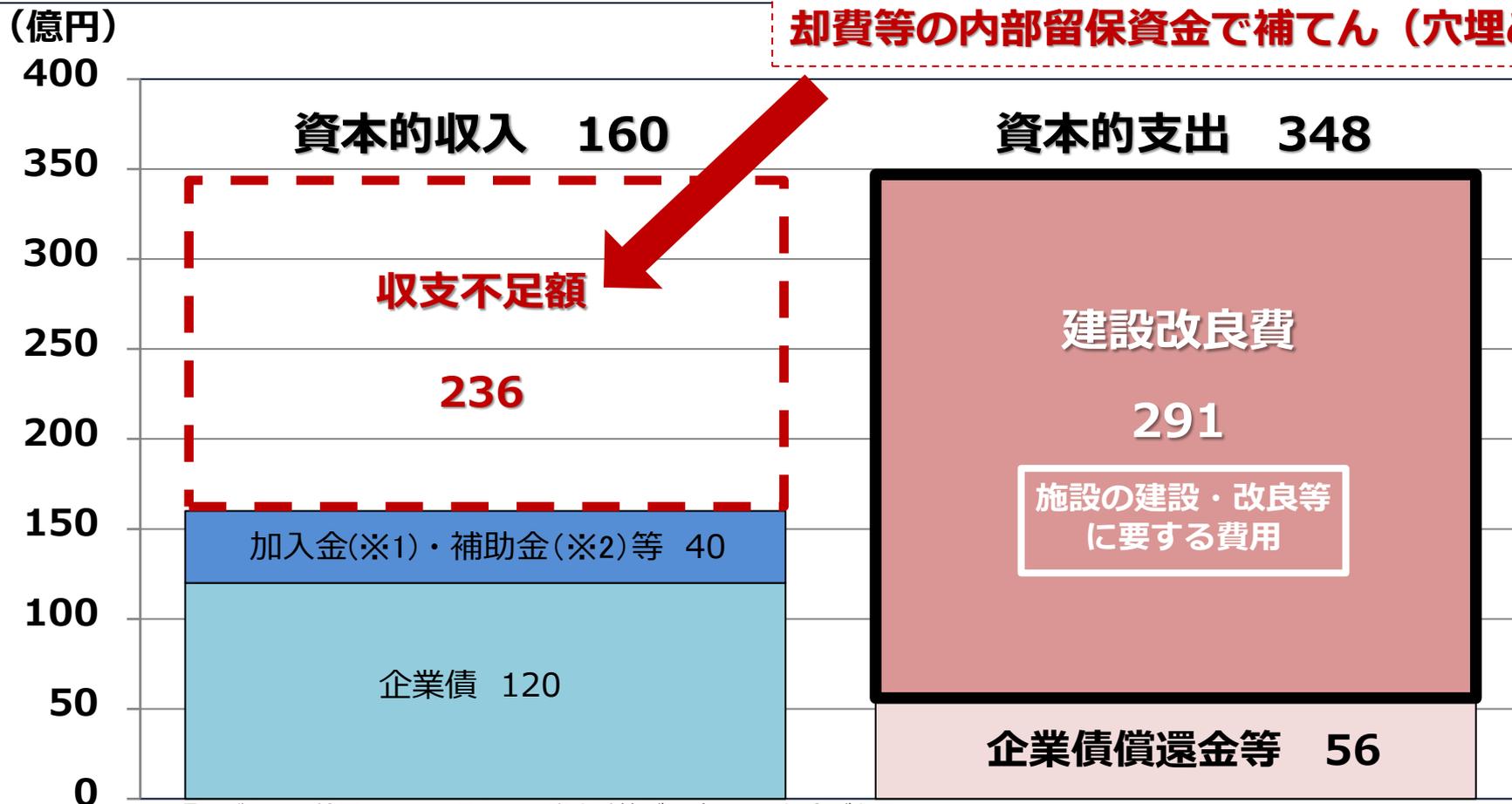
※H26から新会計基準を適用している。

※H26の収入には、会計基準の見直しによる修繕引当金取崩の影響額 約75億円を含む。

2 令和7年度予算の詳細(3)

資本的収支（消費税込）

税抜の収益的収支差引（純利益）や減価償却費等の内部留保資金で補てん（穴埋め）



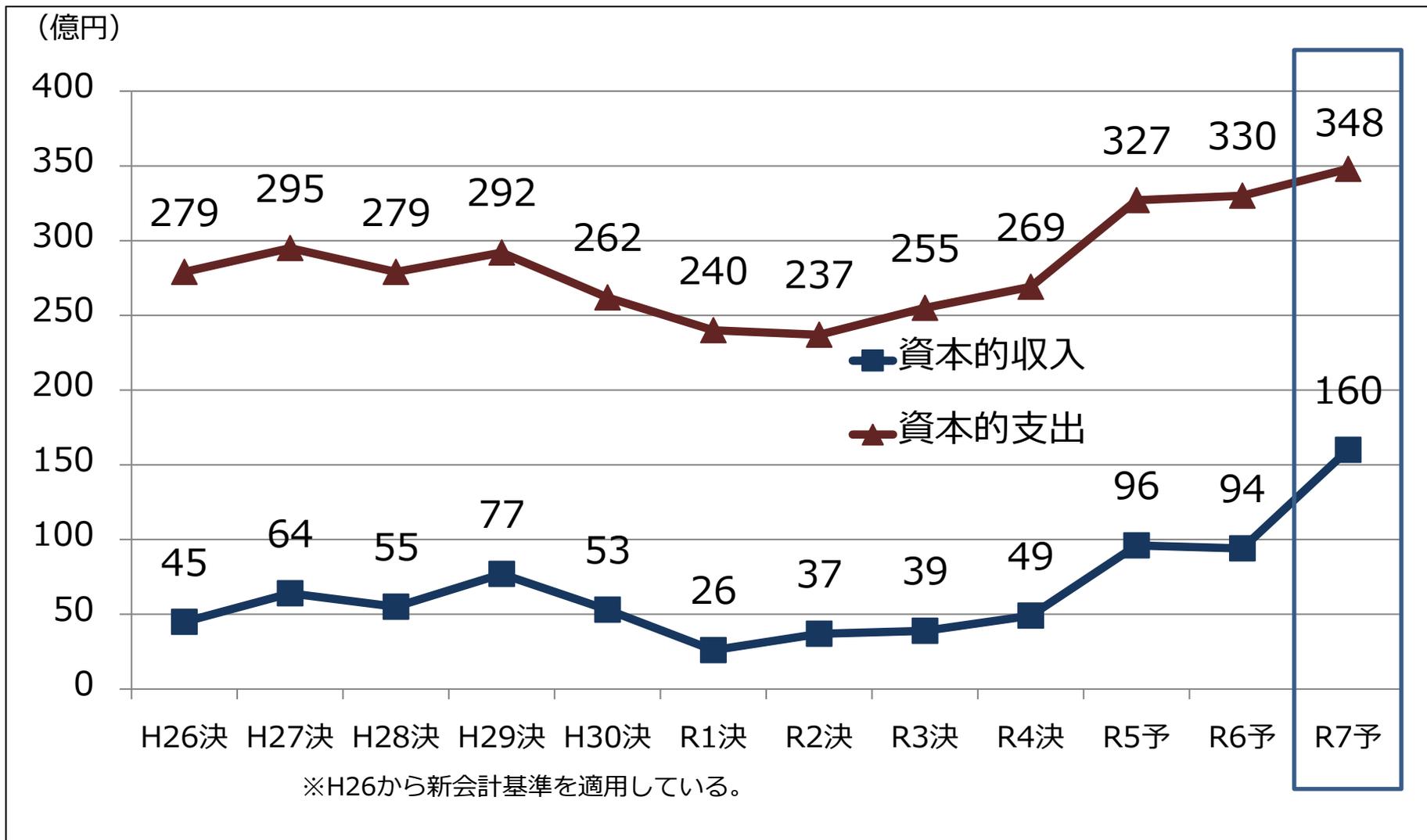
※ 項目ごとに四捨五入しているため、表中計算が一致しない場合がある。

※1 加入金:水道の新設や水道メーターの口径を大きくするときに徴収するもの。

※2 補助金:国、道から行政上の目的をもって交付される金銭的給付。

2 令和7年度予算の詳細(4)

資本的収支（消費税込）の推移



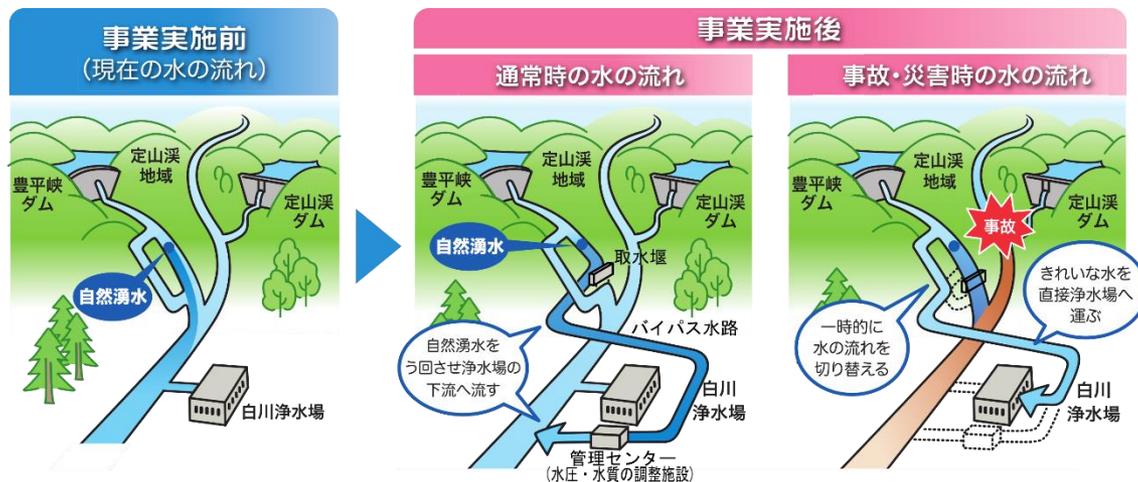
3 主要事業(1)

○「第2次札幌水道ビジョン」における4つの目標と主要事業

【目標1 安全で良質な水の確保】

水源の確保や水源の保全・水質管理の強化を図ることにより、これからも安全で良質な水の供給を目指す。

○豊平川水道水源水質保全事業



- ・・・管理センター関連工事（機械、電気などのプラント設備）
- ・・・事業費 2,135百万円

3 主要事業(2)

【目標2 安定した水の供給】

耐震性能が不足しているとともに経年劣化が進んでいる既存浄水棟を段階的に改修する。改修は既存浄水棟の運転を停止して行う必要があり、停止時に低下する給水能力を補うための新たな浄水棟を先行して整備する。

○白川浄水場改修事業



- ・・・白川第4浄水棟新設工事、白川取水口ほか新設工事
- ・・・事業費 6,391百万円

3 主要事業(3)

【目標2 安定した水の供給】

経年劣化が進み、耐震性も不足している白川第1送水管を、耐震管を用いて更新することで、将来にわたり安定した送水機能の確保を目指す。

○白川第1送水管更新事業



- ・・・白川第1送水管更新工事
- ・・・事業費 1,190百万円

3 主要事業(4)

【目標2 安定した水の供給】

水道施設の計画的・効率的な整備・維持管理を進める一方、災害に強い水道システムを構築することにより、安定給水の堅持を目指す。

○配水管整備事業

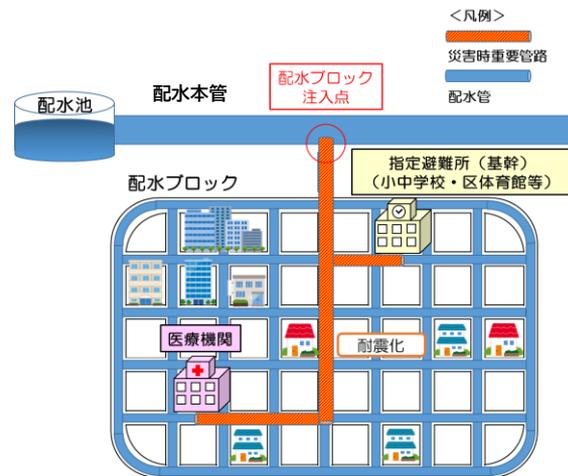
新たに策定した「配水管整備計画」に基づき、配水管の重要度、漏水発生リスクの評価から整備優先度を設定し、優先度の高い管路から整備を進めていく。

配水本管の整備



平岸第1、北、清田第2の
3幹線1.8kmを整備
事業費 2,955百万円

配水支管の整備



《管路布設の状況》



老朽管の更新や医療機関へ向かう配水管の耐震化
など46.3kmを整備 事業費 11,423百万円

3 主要事業(5)

【目標3 利用者に満足される水道】

利用者との双方向のコミュニケーションを図りながら、利用者ニーズに対応したサービスの提供を図り、利用者に満足され、信頼される水道を目指す。

○スマートメーターの調査研究

- ・・・調査業務及び実証実験
- ・・・事業費 13百万円



○水道記念館を活用した水道学習の推進

- ・・・水道記念館の運営
- ・・・事業費 123百万円



3 主要事業(6)

【目標4 健全経営のもと自律した水道】

効率的な事業運営や健全財政を堅持していくほか、時代の変化に柔軟に対応できる活力ある人材・組織づくりを目指す。

○人材の育成と技術継承

- ・・・局内研修、外部研修、資格取得
- ・・・事業費 18百万円



庁舎改修に併せたZEB化等の徹底した省エネルギー対策や再生可能エネルギーの更なる導入など、環境負荷低減の取組を推進する。

○再生可能エネルギーの導入拡大

- ・・・バイパス水力発電設備新設工事
- ・・・事業費 371百万円

【参考：平岸配水池の水力発電設備】



※ 公営企業会計について

○地方公営企業とは

- ・地方公共団体が、住民の福祉の増進を目的として設置し、経営する企業。
- ・地方公営企業は、提供するサービスの対価である料金収入により維持される。
- ・札幌市は、水道・病院・中央卸売市場・軌道整備・高速電車・下水道の6事業が該当。

【公営企業会計の主な特色～一般の官公庁会計との違い～】

①現金主義ではなく、発生主義である。

現金の収支にかかわらず経済活動の発生事実に基づき整理される。

②期間計算（費用配分）の考え方がある。

その年度の収益の獲得につながったと考えられる部分だけがその年度の費用として整理される。

③損益計算と資本取引の区分がある。

1年間の経営成績を表す収益的収支、施設の建設・改良等の事業費とその財源を表す資本的収支の2つの収支がある。

④資産、負債及び資本の概念がある。

「資産」は資金の運用形態を示し、「負債及び資本」は資金の調達方法等を示す。

※資産＝負債＋資本

⑤予算及び決算の双方を重視する。

歳出の規制だけではなく、経済性の発揮が求められている。

・・・など

※ 公営企業会計について

○収益的収支と資本的収支

■収益的収支

- ・ 1年間の企業の経営活動に伴い、発生する収益と費用を表したもの
 - 施設の運転・管理等、事業を運営するための費用とその財源
 - 当年度の収益と費用を表す（黒字・赤字）

■資本的収支

- ・ 施設の建設など支出の効果が次年度以降に及ぶものや、企業債の元金償還などの支出とその財源となる収入を表したもの
 - 施設を建設・整備するための支出と企業債の借入などの財源
 - 次年度以降の収益的収支に影響

- 公営企業会計においては、資本的収支の収入が支出に対し不足するため、収益的収支からの損益勘定留保資金^(※1)（減価償却費^(※2)等）や利益で補てん（穴埋め）することが一般的。

※1 損益勘定留保資金：現金支出を伴わない支出によって企業内に残る資金。

※2 減価償却費：固定資産の経年的な価値の減少を毎事業年度の費用として計上するもの。

※ 用語集

用語	意味
営業外費用	水道事業の主たる営業活動以外の原因から生じる費用
加入金	水道の新設や水道メーターの口径を大きくするときに徴収するもの
企業債	地方公営企業が施設の建設・改良等に要する資金に充てるため、外部から借りるお金のこと
企業債償還金	企業債の返済期日を迎えたときに、返済するお金のこと
給水収益	水道料金の収入
減価償却費	固定資産の経年的な価値の減少を毎事業年度の費用として計上するもの
固定資産	浄水場の建設、配水管の布設、自動車の購入などにより得た資産で、1年以上の長期間にわたって使う目的で保有するもの
資金残高	外部に流出せずに企業内部に残っている資金の額を表すもの
支払利息	企業債の借入に伴う利息

※ 用語集

用語	意味
資本的収支	施設の建設など支出の効果が次年度以降に及ぶもの(建設改良費)や、企業債の元金償還などの支出とその財源となる収入(加入金、補助金、企業債など)を表したもの
収益的収支	1年間の企業の経営活動に伴い、発生する収益(給水収益など)と費用(職員給与費、運営管理費、減価償却費など)を表したもの
純利益	収益から費用を差し引いた残額(マイナスとなった場合、純損失という)
損益勘定留保資金	現金支出を伴わない支出(減価償却費など)によって企業内に残る資金
地方公営企業	地方公共団体が地方公共団体が、住民の福祉の増進を目的として設置し、経営する企業
特別損失	経常的な経営活動とは直接関わりのない特別な要因で発生した費用(過年度分の水道料金還付金など)
補助金	国、道から行政上の目的をもって交付される金銭的給付